

2016 年 9 月 4 日

◆発表者の氏名谷崎義生（たにざきよしお）

◆発表者の職種（医師）

「演題名」脳卒中救急搬送症例の事後検証：第3報

公益財団法人脳血管研究所美原記念病院 1) 救急部・脳神経外科、14) 神経内科、2) 伊勢崎市民病院 救急センター・脳神経外科、3) 前橋赤十字病院 脳神経外科、4) 公立藤岡総合病院 脳神経外科、5) 高崎総合医療センター 脳神経外科、6) 館林厚生病院 脳神経外科、7) 太田記念病院 脳神経外科、8) 桐生厚生病院 脳神経外科、9) 群馬大学医学部 脳神経外科、10) 黒沢病院 脳神経外科、11) 老年病研究所付属病院 脳神経外科、12) 日高病院 脳神経外科、13) 沼田脳神経外科循環器科病院 脳神経外科

○谷崎 義生（たにざき よしお）1)、中島 重良（なかじま しげよし）2)、朝倉 健（あさくら けん）3)、甲賀 英明（こうが ひであき）4)、栗原 秀行（くりはら ひでゆき）5)、松本 正弘（まつもと まさひろ）6)、矢尾板 裕之（やおいた ひろゆき）7)、石原 淳治（いしはら じゅんじ）8)、清水 立矢（しみず たつや）9)、大森 重宏（おおもり しげひろ）10)、宮本 直子（みやもと なおこ）11)、木幡 一磨（こわた かずま）12)、石川 俊郎（いしかわ としろう）13)、美原 盤（みはら ばん）14)

【背景と目的】群馬県では11地域MC主催によるPSLSコースを75回開催、受講者は2040名であった。t-PA常時施行可能14病院、条件が合えば可能4病院を明示した。前回の本学会ではt-PA常時施行可能13病院の内10病院で脳卒中搬送症例の事後検証を行いその結果を発表した。今回は昨年11月13病院で事後検証を実施したのでその結果を報告する。【方法】昨年11月に13病院に救急搬送された脳卒中患者の搬送確認書を使用し、脳卒中判断、発症時間の記載率とロードアンドゴー判断の正解率を調査した。【結果】脳卒中判断・発症時間・それぞれの記載率は62.7%・61.2%で、内因性L&G正答率は42.9%であった。【結論】脳卒中救急は、地域拠点病院の努力により前進してきた。救急救命士の処置高度化に対応した事後検証が必須である。群馬県統合型医療情報システムを活用した、事後検証体制構築が喫緊の課題である。